



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2000, 74(3):
320-320

ISSUE DATE:

2000-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96825>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成12年6月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第74巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.74 no.3

物性研究

2000 / 6

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し議論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **73** (1999), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

最近、国内の電子系の分野で基礎的研究を主として行なってきた人々の間で、工学的応用を視野に入れた研究が、話題にのぼることが多くなったように思う。カーボン・ナノチューブを使った極薄ディスプレイ、モット絶縁体を利用した光スイッチング・デバイス、近藤効果を応用した冷却器、などなど…。今まで、実用とは無関係だった基礎研究のテーマが、思わぬ所で、応用と結び付くことを知って、驚かされる。数年後に控えた国立大学の独立行政法人化に向けて、産学提携を進める準備として、このような動きが活発になってきているようだ。確かに、多様な現象の成り立ちを解明して、さらにそれをコントロールすることを可能にする凝縮系物理学において、たとえ基礎的研究であっても、なんらかの工学的応用と強く結び付いた動機付けと無関係であるのは難しいし、また、そのような応用を視野に入れた研究から、逆に基礎研究への新しいブレークスルーが生ずることも、ありえないことではないと思う。私個人としては、このような研究も、非常に面白いと思うのだが、しかし、また同時に、産業と大学の急接近に、いささかの気がかりも無いわけではない。

これまで世界中でどこよりも産学提携を押し進めてきた MIT、スタンフォード、ハーバードなどのアメリカの大学において、かつて起こり、また、現在でも起こり続けていることは、学問の公開性と企業の秘密主義との衝突、利害がらみの科学界における人間関係の破綻、企業への頭脳流出による大学における長期的な研究者養成機能の低下、などの数々の弊害である。(D・ディクソン著「戦後アメリカと科学政策」同文館発刊) たとえば、大学教授が私的利益のために、学生の研究分野を企業と提携している特定のものに制限するのは、まだましな方で、ひどい事例では、指導教授が、学生の研究成果の一部を提携企業に流し、その企業が、マンパワーで、その学生より早く研究結果を得たために学生の学位取得が不可能になり、裁判沙汰になったというケースもある。(同前掲書)

日本の国立大学の独立行政法人化についても、さまざまな議論がなされていると思うが、大学で研究、教育に従事している当事者が、起こり得るさまざまな問題の可能性について、もっと具体的に準備を整えていく必要があるであろう。産学提携は、大学の自助資金確保のためではなく、大学に施された公共投資の社会への還元として、見返り無しで行なうのが、本来のありかただと思う。そこが崩れると、かつてアメリカの大学で生じた問題を繰り返すことになるのではないか。

(即席去私)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第74巻第3号 (平成12年6月号) 2000年6月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第74巻第3号 (平成12年6月号) 2000年6月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **京都 01010-6-5312**

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 74-3 (6月号) 目 次

○界面活性剤の作る分子膜の物理……………末崎 幸生…… 201

○シリーズ

「物性研究者のための計算手法入門」

・界面の大変形を伴う自由界面流れの計算手法……………横井 研介…… 240

○1次元量子系の厳密解とベーテ仮説の数理解……………出口 哲生…… 255

○編集後記…………… 320

物 性 研 究 74-3 (6月号) 目 次

○界面活性剤の作る分子膜の物理……………末崎 幸生…… 201

○シリーズ

「物性研究者のための計算手法入門」

・界面の大変形を伴う自由界面流れの計算手法……………横井 研介…… 240

○1次元量子系の厳密解とベーテ仮説の数理解……………出口 哲生…… 255

○編集後記…………… 320